

平成27年度現地検討会実施状況（林道整備）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
林業専用道	平成27年度 林業専用道現地検討会・現地見学会	7月8日～9日	北海道森林管理局 森林整備第二課 北海道庁	美瑛町（国有林） 上川町（道有林）	国有林 59 名	林業専用道作設技術の向上のため、国有林と民有林の林業専用道の違いを確認して使用感や路網作設に関する意見交換の実施	初日、上川南部森林室作設「林業専用道 4 5 林班基幹線」の現地見学会では、「民有林林道の路盤工はC B R 試験の結果によって路盤厚を決めている」「国有林では基本路盤厚 2 0 c m である」などの違いや、「路盤材における再生骨材の利用方法等」について意見交換がされた。 2日目、北海道型作業システムモデル施業地である、上川中部署「大楸林道（林業専用道）」の現地検討会では、路網と土場の位置関係や搬出方法などの検討を行い、その後は「国と道での伐開幅の違い」などについて意見交換がされた。 全体を通して、路網線形は路網作設後の伐採搬出に使用するものであり、そのことも勘案した上での線形決定が重要であると確認した。	
					民有林 12 名			
					事業体 名			
					研究機関 名			
					その他 2 名			
					合計 73 名			
林業専用道	平成27年度 林業専用道現地検討会・現地見学会	7月29日～30日	北海道森林管理局 森林整備第二課 北海道庁	陸別町（国有林） 帯広市（市有林）	国有林 48 名	林業専用道作設技術の向上のため、国有林と民有林の林業専用道の違いを確認して使用感や路網作設に関する意見交換の実施	初日、北海道型作業システムモデル施業地である、十勝東部署「直志ノ沢林道（林業専用道）」の現地検討会では、販売担当者から「傾斜も緩く、搬出が容易である」との声や、法面緑化や路床排水についての国と道の違い等の意見交換がされた。 2日目、帯広市作設「林業専用道・南岩内線」の現地見学会では、木製路面排水工の設置位置の検討や施工方法についての意見交換がされた。 全体を通して、国有林では既設路網との接続や伐採搬出の作業を考慮して線形を決定するが、民有林では、土地所有者の理解を得ながら線形を決めなければならない点で、線形決定の難しさや重要性を確認した。	
					民有林 18 名			
					事業体 名			
					研究機関 名			
					その他 2 名			
					合計 68 名			
林業専用道	平成27年度 林業専用道現地検討会・現地見学会	8月26日～27日	北海道森林管理局 森林整備第二課 後志森林管理署 北海道庁	伊達市（国有林） 安平町（道有林）	国有林 57 名	北海道型作業システムを地域に普及するため、林業専用道の効率的な路線選定、低コスト森林整備に関する現地検討の実施	初日、北海道型作業システムとして作設した後志署の「我妻の沢林道オロエンの沢支線（林業専用道）」で、ルートは「縦断勾配・アクセスポイント・計画延長等」を考慮して図上で3案程度選定し、現地踏査を行って最も優れたルートに線形を決定する事が重要であると説明した。 意見交換では「木製路面排水工のゴムの規格は」等の専門的な意見もあった。 2日目、胆振総合振興局の「林業専用道 1 4 7－2 林班線」で、作設された河床路について他の構造物との価格比較や作設基準などの意見交換が行われ、「国有林では基準が明確に規定されていない」為、基準を策定するべきとの意見もあった。 全体を通して、専用道・作業道システムをどれだけ連携させるかがこれからの課題であり、路網作設にあたっては、路網担当のみならず、使用するすべての者による検討が重要である事を確認した。	
					民有林 31 名			
					事業体 名			
					研究機関 名			
					その他 1 名			
					合計 89 名			

現地施工業者による説明を聞く参加者

総評を語る山本森林環境保護技術分析官

局担当者による現地概要の説明

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者		目的	内容	写真
林業専用道	「北海道型作業システム」研修会	9月15日	宗谷総合振興局 留萌振興局 宗谷森林管理署 留萌北部森林管理署	枝幸町（国有林）	国有林	9 名	高性能林業機械を使用した効率的な森林整備を地域に普及するため、北海道型作業システムによる路網の考え方等について意見交換を実施	北海道型作業システムによる路網作設の考え方等を現地で説明するとともに、検討会を実施した。 検討会では、「林業専用道と森林作業道の作設の考え方、メンテナンスの考え方」「土場位置をどのように考えて設置しているか」等の活発な意見交換が行われ、今後、民有林でも取り入れていくことを検討することとなった。	
					民有林	14 名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	23 名			
作業システムの説明									
林業専用道	平成27年度林業専用道現地検討会	10月6日	留萌地域林道連絡調整会議 留萌振興局 各市町村 留萌北部森林管理署 留萌南部森林管理署 外	天塩町（国有林） 天塩町（民有林） 遠別町（民有林）	国有林	7 名	留萌管内の国有林と民有林が隣接する地域において、森林整備の円滑な推進と施業の低コスト化を進めるため、森林管理署と振興局の連絡調整を円滑にし、国有林と民有林が連携した効果的かつ効率的な路網整備の検討を実施	天塩町の国有林と民有林、および遠別町の民有林から各1箇所ずつ林業専用道新設箇所を選定して現地確認を行い、それぞれの林業専用道に係わる森林整備および路網整備の状況、道路作設技術、事業推進上の課題等について意見交換を行った。 意見交換では「それぞれの地区毎の特徴により、路網整備の状況に違いがあることがわかった。お互い情報共有して地域全体で有利な路網整備計画を考えることも必要」等の意見があった。	
					民有林	17 名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	24 名			
民有林林業専用道の作設状況									
林業専用道	石狩管内森林計画実行管理技術研修・林業専用道（右股林道）作設における現地意見交換会	10月7日	北海道石狩振興局森林室 北海道森林組合連合会 石狩管内指導林家連絡協議会 石狩森林管理署	石狩市(国有林) 石狩市(民有林)	国有林	9 名	市町村・森林組合・森林施業プランナー等を対象に林業専用道等の作設技術や知識の向上を図るため、国有林と石狩森林組合との共同施業団地で作設した林業専用道で、効率的な路網配置の技術を普及	民有林の路網整備について座学を行い、補助事業・解説フローチャートや石狩地域林道連絡調整会議の活動について学習した。 現地では、国有林で作設した林業専用道作設について意見交換を実施し、「敷砂利は厚さはどれ位か」などの質問があり、知識・技術の向上につながった。 場所を民有林（指導林家）へ移動し、自家労力による森林管理、油圧ショベルによる路網作設などについて意見交換を実施し、「枝打ちの時期・回数はどのように行われているのか」などの質問があり、指導林家の山づくりを学ぶ貴重な機会となった。	
					民有林	41 名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	50 名			
検討の様子									
林業専用道	民国連携路網整備現地検討会 ※運営会議における現地視察、森林整備推進協定締結に向けた先進地視察含む	12月2日	寿都地域森林整備推進協定（寿都町・後志総合振興局・南しりべし森林組合・後志森林管理署）	寿都町（国有林）	国有林	9 名	民国連携した効率的な森林整備を円滑に進めるため、協定締結者相互の「寿都地域森林整備実施計画」に基づく路網整備（民有林・国有林林業専用道の連結）の実施状況の確認と森林整備の低コスト化について現地検討を実施	路網・森林整備の実施状況と国有林野施業実施計画の変更について確認後、国有林の林業専用道新設箇所へ移動し作設状況と周辺的人工林を確認し意見交換を実施した。 意見交換では、軟弱地における路網整備（横断・路盤・路面排水の施工箇所や種類の選定）、森林整備における路網や土場の共有など、民国連携した効率的な森林整備について意見が交わされ、森林整備低コスト化の必要性について理解が深まった。	
					民有林	11 名			
					事業体	2 名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	22 名			
新設箇所の状況									